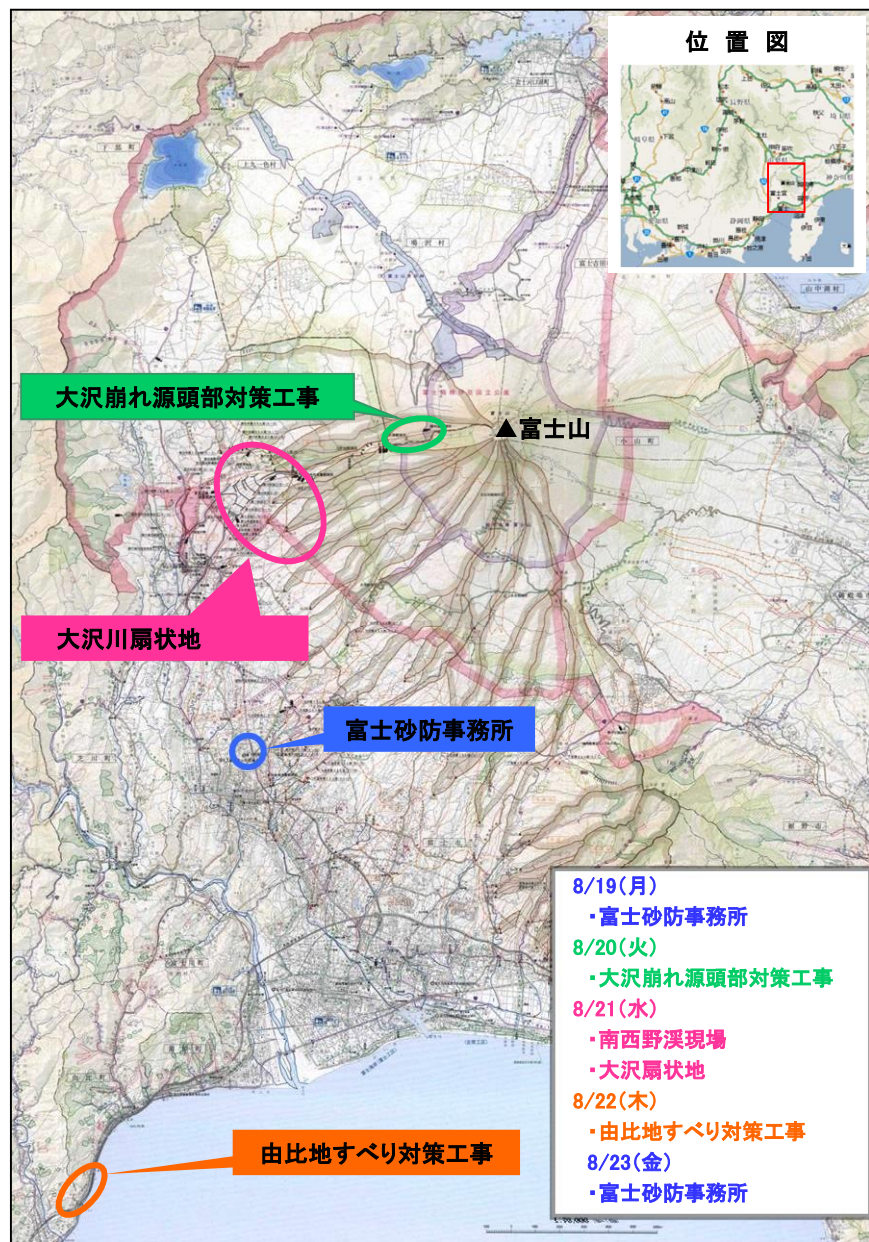


キャンプ砂防2024 in富士山

2024
8/19 ▶ 8/23



8
MON 19

開講式

- ◆開講式
- ◆砂防行政について
- ◆事業概要



富士砂防事務所

砂防行政について



事務所長による講義

8
TUE 20

現地調査

- ◆源頭部対策工事見学



源頭部対策工事現場



大沢崩れ源頭部



御中道にて記念撮影

工事現場見学



道中には険しい箇所も



標高約2,100mの工事現場を見学

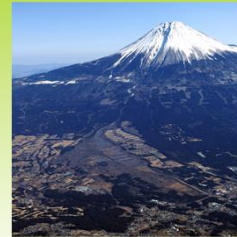
キャンプ砂防2024 in富士山

2024
8/19 ▶ 8/23

8
WED 21

現地調査

- ◆ 南西野溪現場
- ◆ 大沢川遊砂地



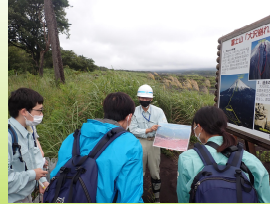
富士山と大沢扇状地

砂防施設見学



透過型堰堤の見学

大沢扇状地見学



大沢扇状地の説明

8
FRI 23

閉講式

- ◆ 成果発表
- ◆ 閉講式



記念写真

成果発表



キャンプ砂防の成果をレポート
にとりまとめ発表



職員の講評



修了証の授与

8
THU 22

現地調査

- ◆ 由比地すべり対策工事

地すべり対策見学



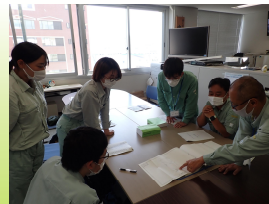
排水トンネルなどを見学



鉄筋挿入の見学



集水井の見学



出張所での座学

～参加学生の声～

参加学生の声

今回の研修では、普段の生活では見ることができないものばかりを間近に見ることができ、これまで知らなかったことを知ることができ、面白いと感じた。今後何らかの形で、今回の研修で得たことが活かせる可能性があることを想うと、尚嬉しい。
(信州大学 4年 女性)

机上論だけではなく、気候や地形などの自然的条件、人間関係や景観保護等の社会的条件等々様々なことを勘案しながら砂防計画は進められていくのだということをこの5日間で身をもって体感した。
(筑波大学大学院 1年 男性)

砂防事業の一環として国土交通省が主体となっている施設を見学し、なぜこの施設を作る必要があるのか、何を保護対象・目的として施工を進めていくのか、限られた時間や制約の中でどのように問題に立ち向かうのかなど、普段の座学だけでは対処することが難しい問題に取り組まれていてとても刺激を受けた。
(熊本大学 3年 男性)

大沢崩れは日本有数の崩壊地ということで、見学できることを楽しみにしていました。実際に見学した地点には滝のようにえぐれた崩壊があり、イメージしていた形と違って驚きました。源頭部だけで2000m以上の距離があるとのことだったので、さらに上流部はどう見えるのか気になりました。
(筑波大学 4年 女性)

(研修レポートより抜粋)